

遊んで食べて癒されて…活力ある南国リゾート。

白浜町の代表的な魅力は、温泉と自然美。万葉の古から「温泉につかり、美しい景色を見るだけで病気が治る」と伝えられてきた癒しの地です。月島（えんげつとう）、鮎釣りと二つで有名な日置川地域など、観光名所として全国に名を馳せる景観や、自然をいかしたイベントや体験ゾーンも人気です。訪れる人々に美しい自然と共に生きる幸せ、素晴らしいを後世に伝え、町民が一体となって、輝きとやすらぎと交流の町白浜は「住んで良い、訪れて楽しい、ふれあいの町づくり」に取り組んでいます。

おーじとしづくとななっちの あの町この村ぶらり旅

Vol.09 白浜町特集



白浜町、ココだよ!



毎年12月の午後5時～
時まで、白良浜で行われるイルミネーション「白砂のアロマナード」。
白良浜の約300メートルに渡り、星座や天使のゲートなどのオブジェが幻想的な光を放び、浮かびあがります。クリスマスシーズンの「マンチックな光の競演」には、毎年多くの観光客が訪れます。

光のロマン、冬の白良浜。

JR新大阪駅から、JRきのくに線特急（オーシャンアロー・スーパーくろしおなど）に乗り、JR白浜駅まで約75分。

JR新大阪駅から、JRきのくに線特急（オーシャンアロー・スーパーくろしおなど）に乗り、JR白浜駅まで約75分。

白浜町へのアクセス

車の場合

「大阪京都方面から」

阪和自動車道 和歌山方面

↓和歌山IC（約50分）

↓南紀田辺IC（約50分）

↓熊野街道を南下（国道42号）

↓白浜町（約30分）



みんな一緒に
さあさ白浜おどり。



緑いっぱい、心も深呼吸。

毎年8月1日に白良浜周辺の路上で催される「白浜おどり」。白浜音頭・椿音頭・炭坑節など白浜町に古くから伝わる伝統的な踊りは、地元の人々と一緒に、どなたでも参加でき、楽しめます。「あさ踊るよ白浜音頭ショコシヨコシヨコサイサイト」町の夏の風物詩です。



白浜町のピックアップ情報局

夏の白良浜イベント



真っ白でサラサラの砂の白良浜は、延長640mの遠浅の浜。日本一早いと言われている海水浴場の開きは、毎年5月上旬。脱衣所やシャワー室も徹底完備、夏場は多くの観光客で賑わいます。

メッセージ花火
毎年7月下旬から8月中旬までの期間中、午後8時から打ちあげられます。



恋人や家族、大切な人へ、花火にのせたメッセージを。

キャンドルイルミネーション
毎年7月下旬から8月中旬までの各土曜日、夜の白良浜をキャンドルの炎で浮かびあがらせます。



アドベンチャーワールド



日本一のパンダファミリーといえばアドベンチャーワールド。約80万平方メートルもの広さに、マリンワールドやサファリワールドなど、5つのエリアに別れており、世界中の動物たちと出会えます。

■入園料／大人3,800円、小人(12～17歳)3,000円、(4～11歳)2,300円
■HP／http://aws-s.com/



円月島（えんげつとう）
島の中央に海蝕洞がぽっかり開いている円月島は、白浜町のシンボル。夕景が非常に美しい。

白浜エネルギーランド



ジャングル迷路や3D映像、トリックアートハウス、エネルギー・ジム（健康）の森など、お楽しみがたくさんのお体験型テーマパーク。ほとんどのアトラクションが屋内、雨天でも遊べるのも嬉しい。

■入園料／大人1,800円、小・中学生1,200円、幼児800円
■HP／http://www.energyland.jp/



千畳敷（せんじょうじ）
瀬戸崎の先端に突き出した大岩盤、打ち寄せる荒波に浸食され、壮大な自然のアートに。



三段壁（さんだんべ）
千畳敷の南にそり立つ高さ50mの断崖、岩肌に打ち寄せた黒潮が迫力満点。

心も体もほっこりあつたか、 湯の町、癒しの旅。



御船足湯

御船足湯は、よしずを屋根にした東屋風の併まい。観光客や地元住民の方とのコニコニケーションも興しました。遠く日月島を望む最高のロケーションで、身も心もほっこりと足湯につかれます。無色透明のさらっとしたお湯でした。

御船足湯だけではなく、白浜町内の足湯はすべて加水のみの源泉かけ流し。午前8時から午後10時の間、利用可能。

つくもと足湯



白良浜の南出口、湯崎つくもと温泉公園にあるつくもと足湯は、海水浴のあとに「わよつと足湯でリフレッシュ」が嬉しい立地条件。道路沿いで駐車場もあるので、南紀ベドライブ途中の休息に、気軽に立ち寄れます。

ちよつと黄色っぽいお湯は、他の足湯と比べると少し珍しいお湯になります。午前8時から午後10時の間、利用可能。

足湯横丁

愛媛県の道後温泉、兵庫県の有馬温泉、そして和歌山県の白浜温泉といえは「日本三古湯」として日本書紀、風土記などに登場する、長い歴史を持つ温泉地。町内には源泉が多数あります。が、今回は気軽に温泉を楽しめる足湯に注目。かが足湯と侮るなれ、それぞれ違う泉質とロケーション、しかもすべて無料なのが嬉しい。

浴衣を着て温泉街を満喫しながら散策してみました。



温泉たまご



足湯&温泉 MAP



柳橋足湯

3種類から選べます。
梅、バニラ、ミックスの味わい！

温泉本アイスは絶対に外せないわ！



拡大版 温 暑 大 好 き た な つ ち の ほっこり温泉紹介



牟婁(むろ)の湯

【泉質】ナトリウム塩化物泉【効能】切り傷、火傷、慢性皮膚病【温度】75℃
行幸湯:【泉質】ナトリウム塩化物炭酸水素塩泉【効能】リウマチ性疾患、運動器障害、更年期障害【温度】83℃



綱(つな)の湯

【泉質】含重曹引食塩泉【効能】慢性関節リウマチ、創傷、火傷、慢性皮膚病、慢性婦人病【温度】63℃
平成20年にリニューアルした共同浴場。無色透明で微弱硫化水素臭あり。

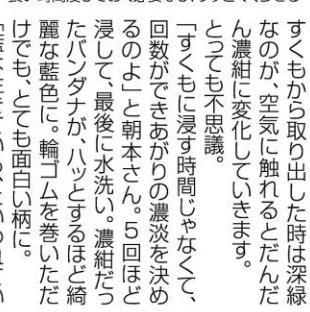
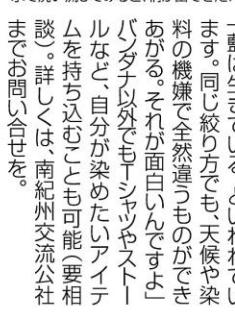


松の湯

【泉質】含硫酸-ナトリウム・塩化物強塩泉【効能】リウマチ性疾患、運動器障害、創傷、虚弱兒童、糖尿病【温度】66℃
『老人憩いの家』としても知られる共同浴場。微白濁で強塩味、無臭。



世界にひとつだけ、奥深い藍色の美学。



すぐもから取り出した時は深緑なのが、空気に触れるとだんだん濃紺に変化していきます。

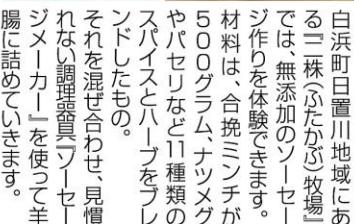
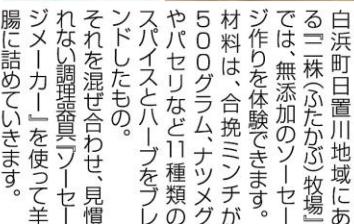
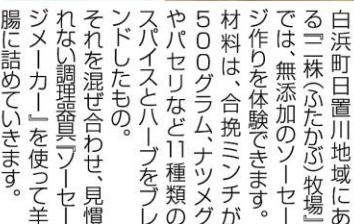
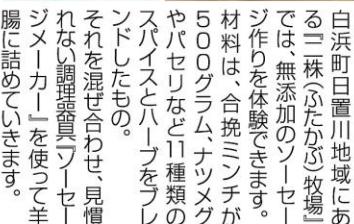
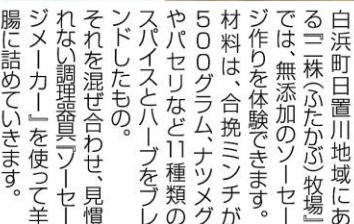
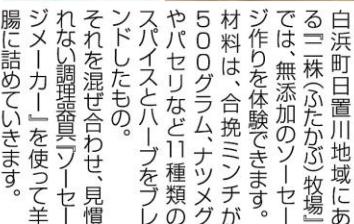
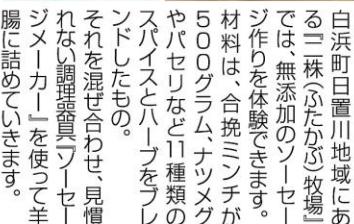
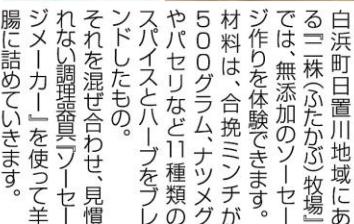
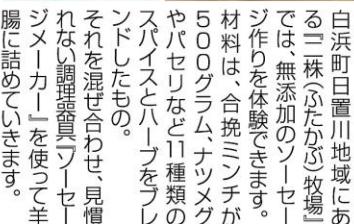
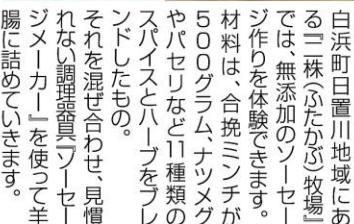
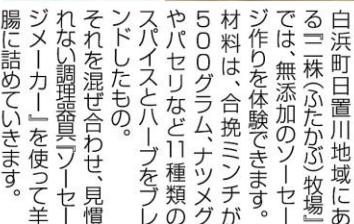
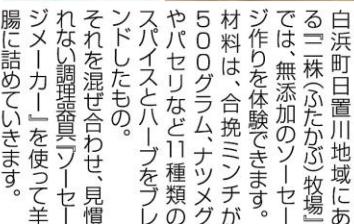
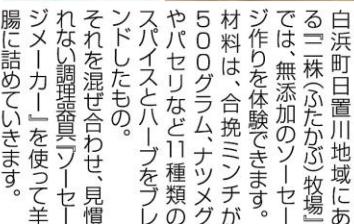
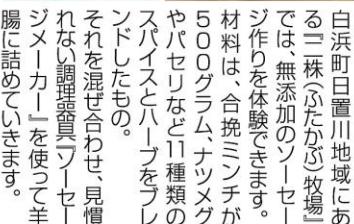
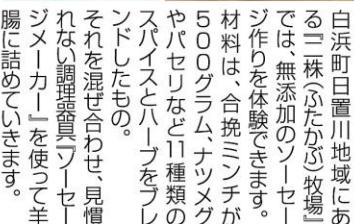
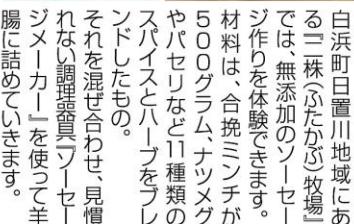
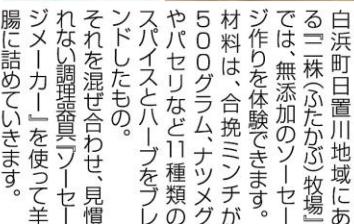
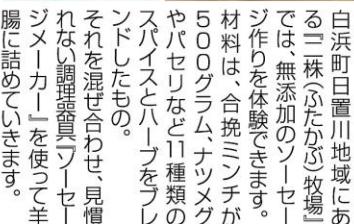
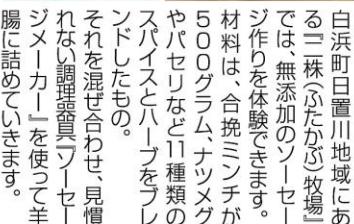
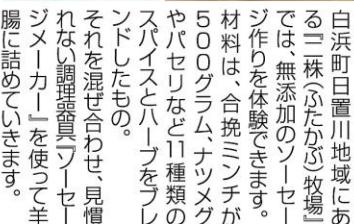
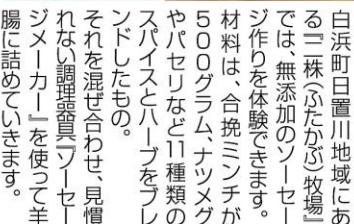
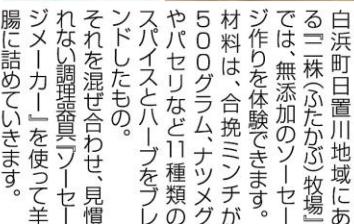
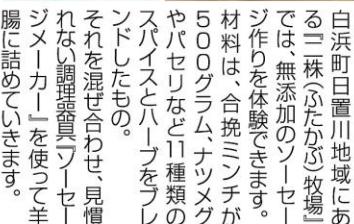
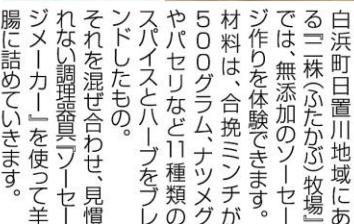
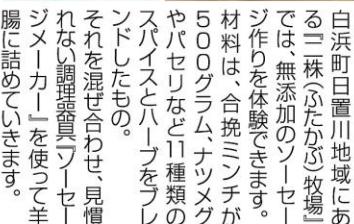
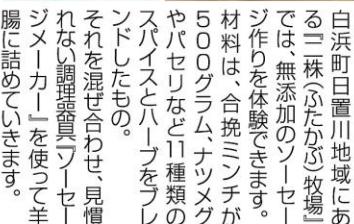
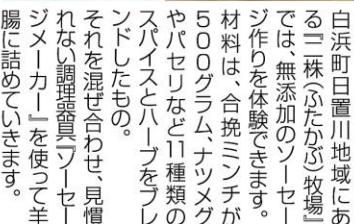
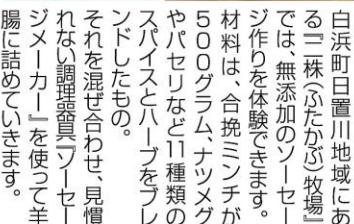
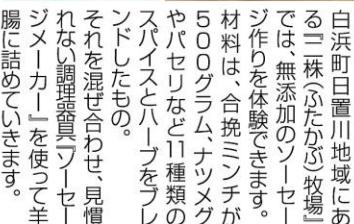
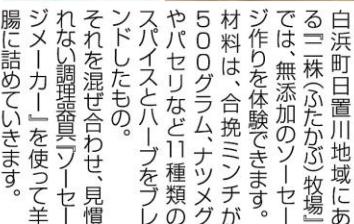
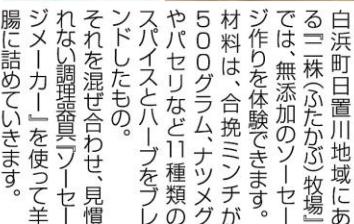
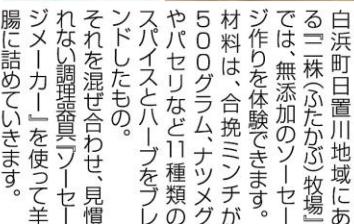
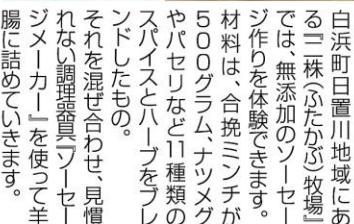
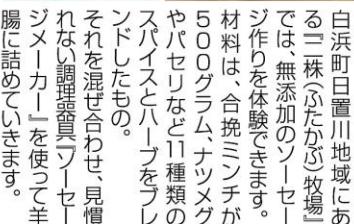
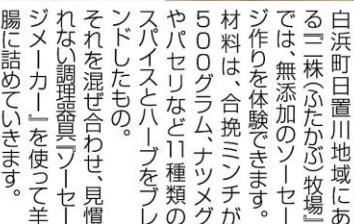
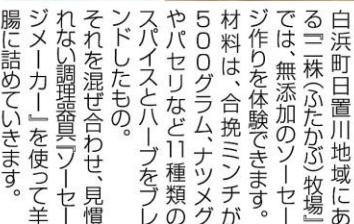
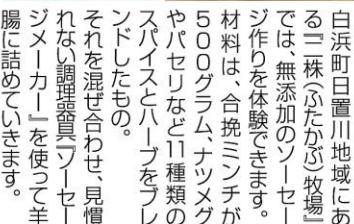
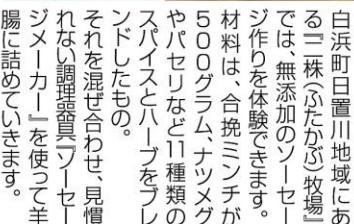
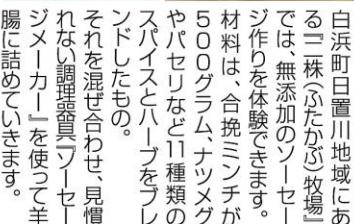
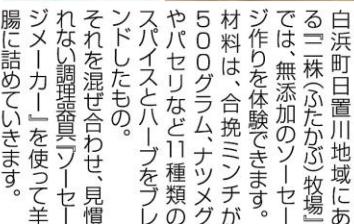
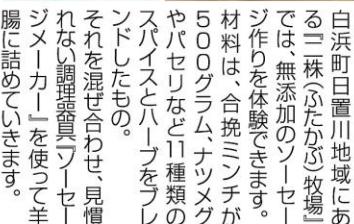
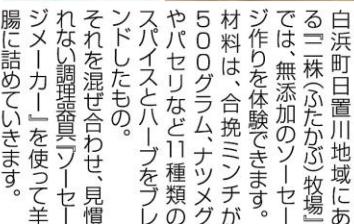
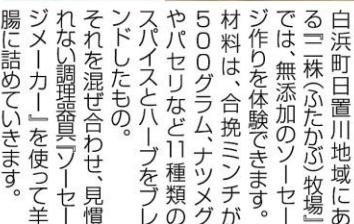
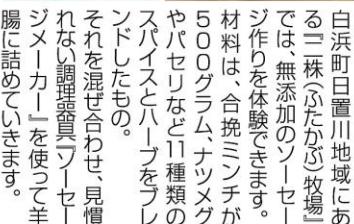
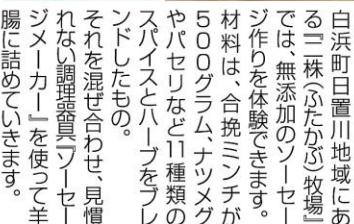
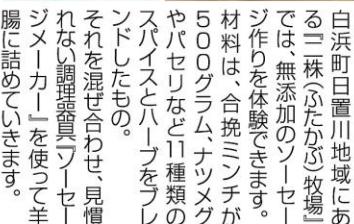
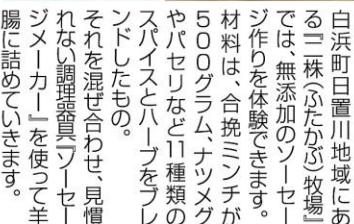
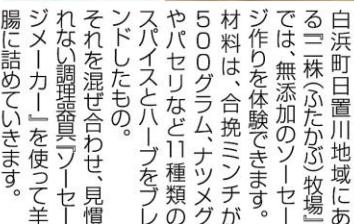
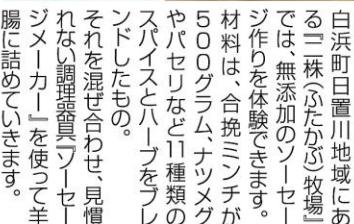
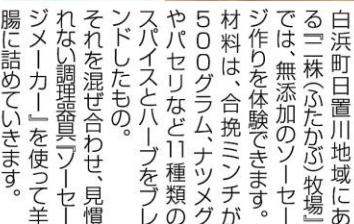
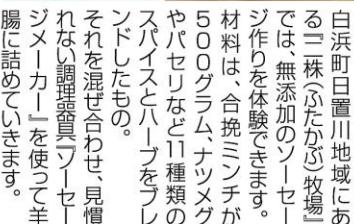
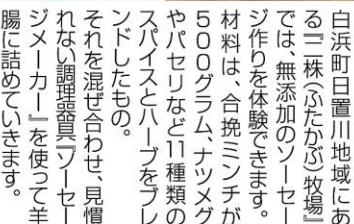
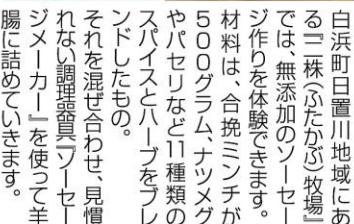
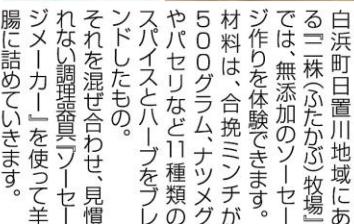
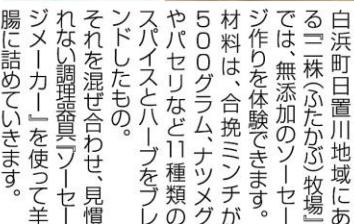
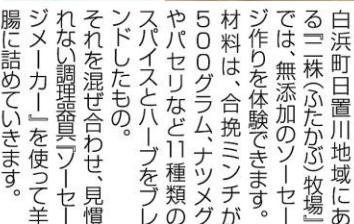
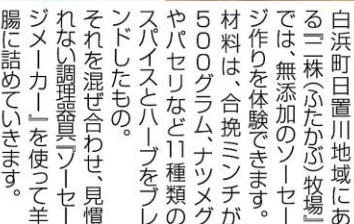
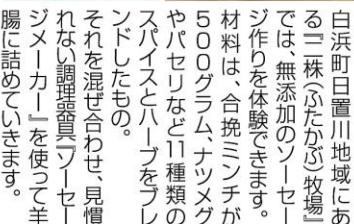
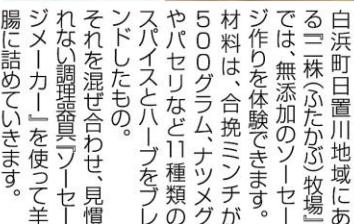
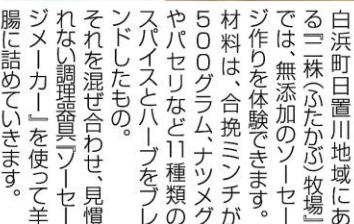
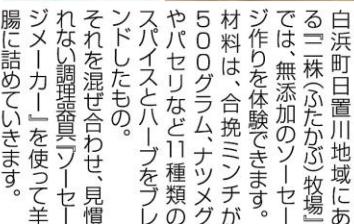
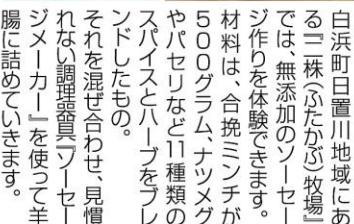
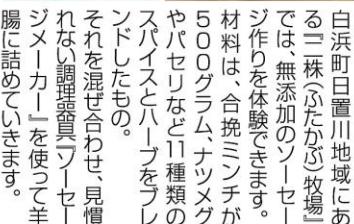
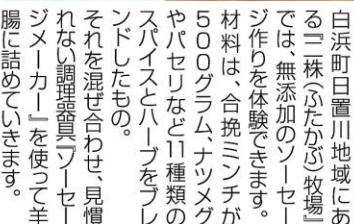
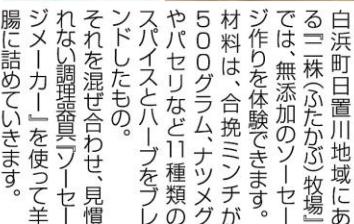
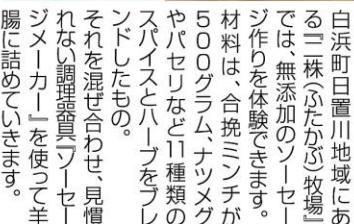
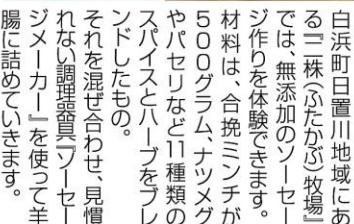
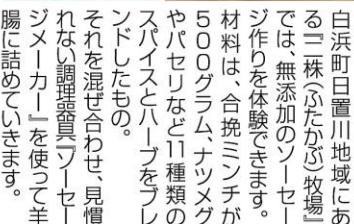
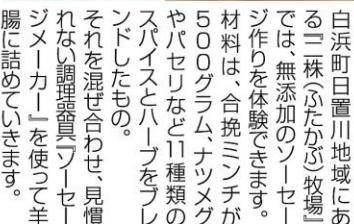
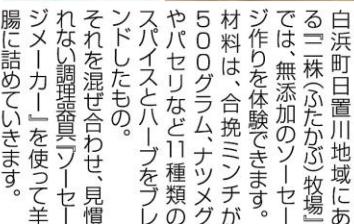
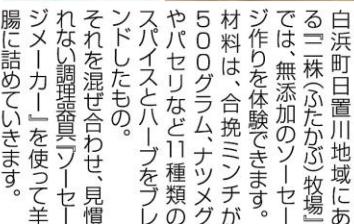
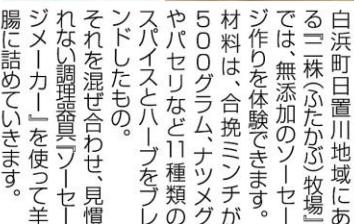
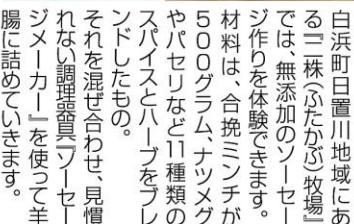
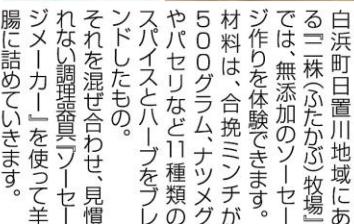
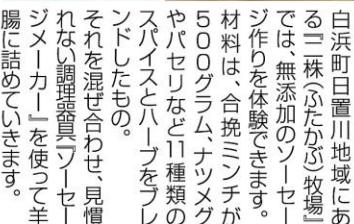
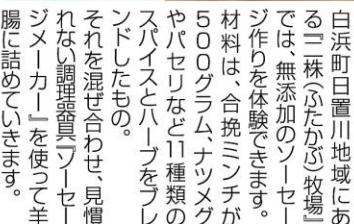
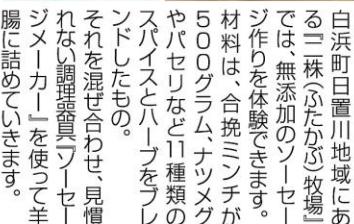
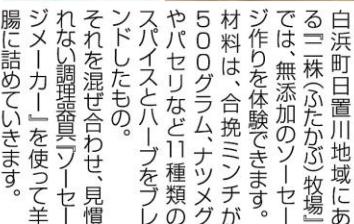
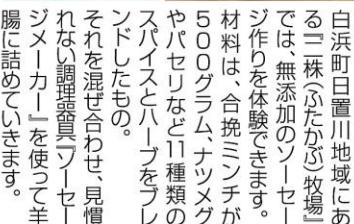
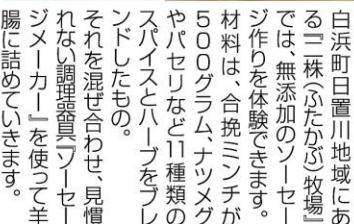
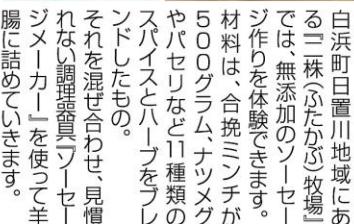
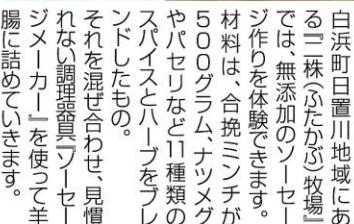
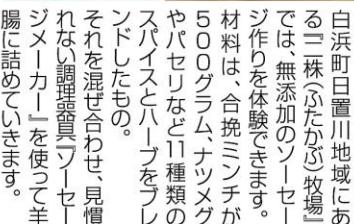
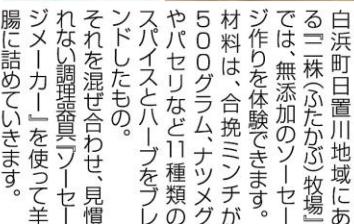
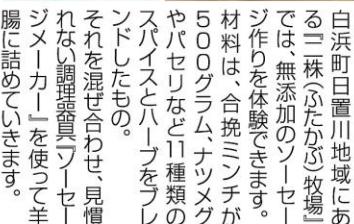
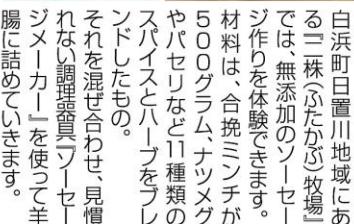
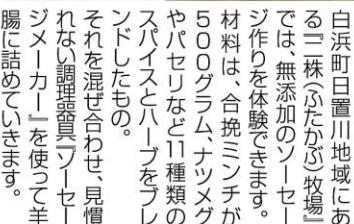
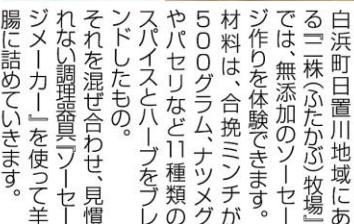
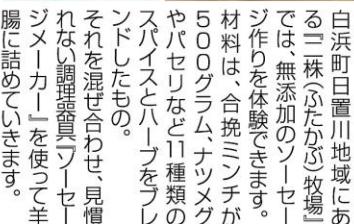
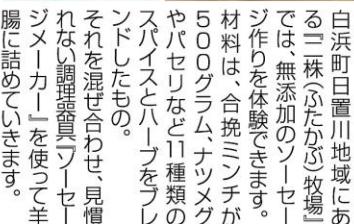
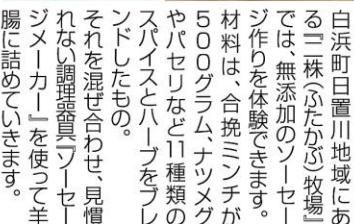
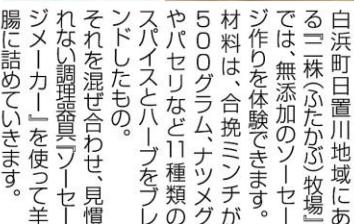
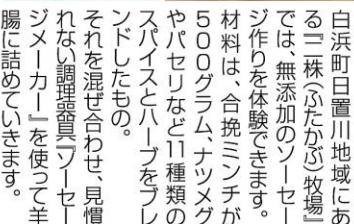
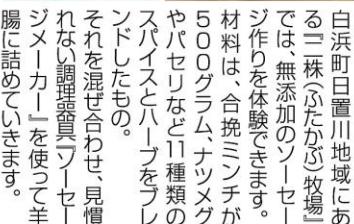
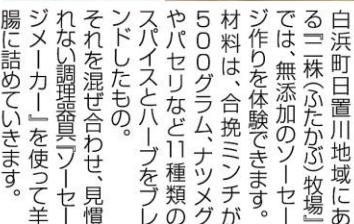
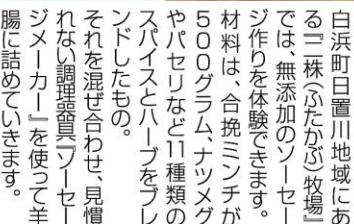
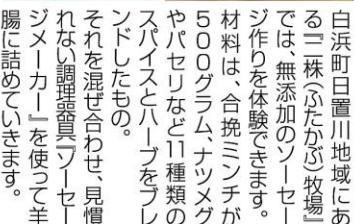
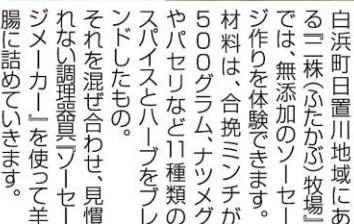
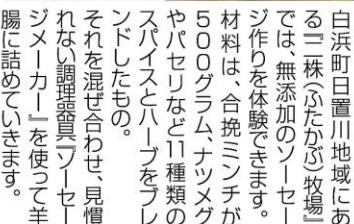
「すくもに浸す時間じゃなくて、回数ができる限りの濃淡を決めるのよ」と朝本さん。5回ほど浸して、最後に水洗い。濃紺だったバンダナが、ハツとするほど綺麗な藍色に。輪ゴムを巻いただけでも、とても面白い柄に。

「藍は生きている、といわれています。同じ絞り方でも天候や染料の機嫌で全然違うものができます。かかる。それが面白いんですよ」

「バンダナ以外でもTシャツやストールなど、自分が染めたいアイテ

ムを持ち込むことも可能(要相談)。詳しくは、南紀州交流公社までお問い合わせを。

ソーセージ作り。



白浜町の“地のもん”を しかと味わう。

白浜町ほんまもん体験

海の体験

海に面した白浜町では、人気のマリンスポーツなど、さまざまな海の体験を楽しめるほか、海漁業を学ぶ絶好の機会もあります。

- 遊観船(※)
- 波止場釣り
- ウツボ漁
- 体验ダイビング(※)
- 一本釣魚
- 体验シュノーケリング(※)
- えなわ漁



PICK UP 南紀白浜 クルージング(※)

白浜町を代表する名勝を、普段見るコトが出来ない海からの景色で楽しめます。サンセットクルーズや、カッブルクルージングなどのプラン。

【クルージングコース】
白浜港→白良浜→千量敷→三段壁→姫原谷→塔島→円月島(約40分)



川の体験

果無山脈の千丈山北東麓に源を発する日置川では、大自然が織りなす峡谷の空気を体全体で感じながら、自然を体験できます。

- ドラゴンボート
- 鮎釣り
- 川力二魚
- 小鷹網漁
- 川釣り
- ウナギ漁
- 川エビ漁



PICK UP リバーカヌー

大自然を楽しみながら、カヌーに乗って日置川を下ります。ライフジャケットを装着し、まずは陸上でパドリングの練習。ゆっくりくつくりの体験なので、初心者でも安全・安心。

農業・林業の体験

林業や農業などを実際に体験したり、自然食材で作る田舎料理を教わったりと、農林業をしっかりと体験できます。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| ●紀州備長炭の作業 | ●ウスイエンドウ | ●さつまいもの作業 |
| ●森林間伐 | ●梅の剪定 | ●大根の作業 |
| ●竹細工 | ●花卉栽培 | ●ピーマンの作業 |
| ●木工 | ●田植え | ●ブロッコリーの作業 |
| ●木の話 | ●じゃが芋の作業 | ●レタス栽培 |
| ●梅の収穫 | ●稻刈り | |



PICK UP 農家・漁家民泊

白浜町内の農家や漁家の人々に“家族の一員”として迎えられ、宿泊させてもらって田舎暮らしを体験します。現段階では教育学習をメインにおいており、観光客の受け入れはしていません。

味覚の体験

日置川地域の、豊かな自然の幸をふんだんに使った郷土料理作りを体験出来ます。古くから伝わる作り方や、お料理のコツなどを、地元の人たちが教えてくれます。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ●饅寿司作り | ●梅酒作り | ●めはり寿司作り |
| ●鮎寿司作り | ●梅干し作り | ●みそ作り |
| ●さんま寿司作り | ●山菜とり | ●ソーセージ作り |
| ●川魚料理 | ●こんにゃく作り | ●餅つき |
| ●梅ジャム作り | ●山芋堀り | |
| ●梅ジュース作り | ●つけもの作り | |

体験に関するお問い合わせ

(※)マークの体験に関しては【白浜町役場 0739-43-5555(代)】
その他は【南紀州交流公社 0739-53-0055】まで



貝のよう、甲殻類の仲間。
皮を剥くと、白いプリンとした身が出てきました。見た目はグロテスクですが、実際食べてみると…豊かな磯の香りと、コリコリプリンとした食感にやみつき!
新しい味覚の発見でした。

このお店は、町で採れる“地のもん”を多く提供しています。ウツボはどうですか?」と小森さん。和歌山県南部では正月料理の食材として珍重されるウツボ。「お鍋や天ぷらなどで食べる美味しさ」と、岩場に群生しています。「結構どこにでもいるけど、焼いた香ばしい皮の部分も何とも言えず美味しい。続いては「竜の子」。町では「せい」と呼ばれていて、浜町ではよく食べます。みそ汁にいれると美味しんですよ!」



美味しい

「紀州博物館」で “本物”を学ぶ。

四季折々の景色や花々を楽しめる平草原の中に、紀州博物館があります。学芸員の玉田伝一郎さんに、館内案内していただきました。「この博物館にあるものは、すべて個人のコレクションなんです。だから、陶器、浮世絵、甲冑、印籠や根付けなど、幅広いジャンルのものを展示しています」すっきりとした館内には、多ジャンルの展示品。



休館時間 午前10時から午後4時
入館料 毎週水・木曜日
(祝日の場合は開館・翌日振替の場合あり)
7000円(小学生3500円)



玉田さんは次代を担う子どもたちの教材DVDを作成しています。玉田さんは白浜町の歴史の伝道師でもあります。

一人でもものでも、人間は肩書きや金額などでその良し悪しを判断してしまう。そうじゃなく、そのものの「本質」を見ることが大事なんですね」と玉田さん。何だかハッとさせられるお言葉。たまつも、物の見方や捉え方を見つめ直してみようと思いました。



開館時間 午前10時から午後4時
休館日 每週月火曜日(祝日の場合は開館・翌日振替)
入館料 2000円(小学生1000円 団体割引あり)

植物学、菌類学者としてのみならず、民俗学の始者として有名な南方熊楠の生涯の功績を幼年から晩年まで6つのコーナーで展示了。楠記念館。イギリスの有名な科学雑誌「ネイチャーリー」誌に掲載された熊楠の論文の数は約50報、日本人最高記録保持者。彼が生涯観察し続けたのは、粘菌やキノコ類といわれています。



お宿紹介

白浜町内には、温泉が自慢のホテルや旅館、民宿などが多いです。日置川地区では、志原海岸の地底から湧き出る天然温泉を堪能できる「リラクゼーションスパ」などがオスマケ。詳しくは、白浜町役場までお問い合わせください。



取材にご協力いただいた方に、この場を借りて厚く御礼申しあげます。

© 和歌山県町村会 本企画の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。本企画に掲載しているデータは2011年5月現在のものです。

詳しい内容の紹介、お問い合わせは、白浜町役場【0739-43-5555(代)】、もしくは和歌山県町村会へ。